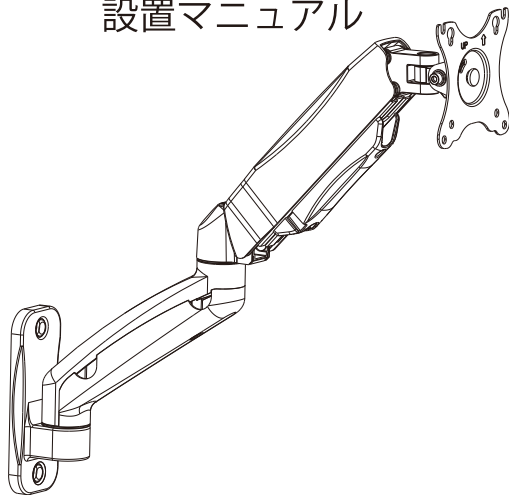


薄型テレビ壁掛け VESA 規格金具
TV セッターアドバンス
UD512 SS

設置マニュアル




この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。
当商品は、D I Y (日曜大工) が得意な方でしたら、慎重に作業すれば設置可能です。
しかし、組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意ください。ようお願い申し上げます。
基本的には、お近くの内装業者・電設業者へ依頼をされる事をお勧めします。



組立不良・取り付け不良、および天災等による事故・損害については、一切の保証はございませんので、ご了承ください。

- ・安全性を十分に考慮し、設置中に怪我や部屋にキズを付ける事の無いよう注意下さい。
- ・設置にあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- ・取り付け工事は2名以上で行うことを強く推奨いたします。
- ・テレビの壁掛け以外のご使用、部品の改造等はしないでください。
- ・設置中に少しでも不安を感じた場合は、作業を中断し、お近くの内装業者・電設業者にご相談ください。

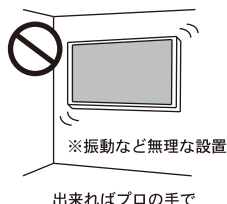
●設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ穴幅	対応テレビインチ	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 縦横 75×75mm 100×100mm VESA 規格	13-32 インチ	2.0 ~ 6.5kg 

設置にあたって：必ずお読みください

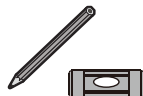
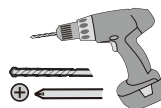


- 必ず耐荷重強度のある壁や壁裏の間柱(スタッド)にしっかりと設置してください。無理な設置はテレビの落下、大怪我に繋がります。石膏ボード壁のみへの設置はお止めください。
- コンクリートやレンガ壁に設置する場合、専門業者に依頼するようにしてください。
- 電源コードや配線にキズを付ける事の無いようにご注意ください。火災などの原因になります。
- 設置の際は、テレビや周辺機器の電源をコンセントから抜くようにしてください。
- 以下の場所には設置をしないでください。
 - ・振動があるような不安定な場所
 - ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
 - ・湿度や温度の高い場所
 - ・テレビの通気が悪い場所(エアコンの側、天井のすぐ側等)
 - ・開閉するドアの側
 - ・その他、テレビ設置に不適格だと思われる場所



設置にあると便利な道具

- 1) 間柱センサー
壁裏にある間柱を見つけるのに便利です。細い針(検知針)やキリを壁に刺して代用する事も可能です。
- 2) ドライバー
ネジ頭のサイズに合わせて、数種類があると便利です。
- 3) ドリルドライバー
電動ドライバーです。壁のネジ穴の下穴を開けるのにも使えます。
- 4) 水平器
壁に金具を取り付ける際に水平になっているかどうかを確認します。
- 5) ペン
壁にネジを打ち込む位置をマーキングします。
- 6) メジャー
床からの距離を測ったり、金具の水平を取る時などに使用する場合があります。
- 7) 柔らかい布
設置の過程で、床などにテレビを置く事になります。下に敷いてテレビを保護します。
- 8) 軍手
手を保護します。テレビを持つ時は滑らないように素手が良いかもしれません。



さあ、設置・・・の前に

- 設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

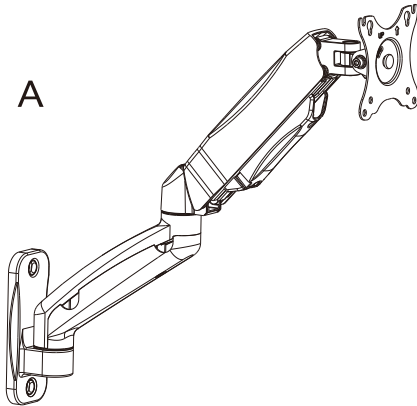
取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ穴幅	対応テレビインチ	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 縦横 75×75mm 100×100mm VESA 規格	13-32 インチ	2.0 ~ 6.5kg

- 設置に必要なネジ類は付属しています。しかし壁の状態によっては若干細く短いネジがあると作業がし易い場合があります。その時はホームセンター等でご用意下さい。

付属部品リスト一覧

以下の部品が全て揃っているかをご確認ください。もし足りない部品がある場合、ご購入店にご連絡ください。

●テレビ金具本体



●パッケージ(チャック袋)

B



ネジ穴カバー
2個

C



5mm 六角レンチ(+ドライバー付き)
1本

●ネジパッケージM(ネジ袋にナンバリングがしてあります)

テレビと金具の接合に使用する部品です。すべての部品を使用するわけではありません。

M-A



M4 × 12mmボルト
4本

M-B



M5 × 12mmボルト
4本

M-C



M5 ワッシャー
4個

●ネジパッケージW(ネジ袋にナンバリングがしてあります)

壁に金具を取り付ける際に使用する部品です。すべての部品を使用するわけではありません。

W-A



6 × 55mm 壁用ラグボルト
2本

W-B



コンクリート壁用アンカー
2本

W-C



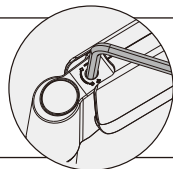
M6 ワッシャー
2個

※壁の状態によって、別のサイズや種類のネジがあると作業がしやすい場合があります。その際はホームセンター等でご相談ください



アーム部のスプリング調節について

ステップ 6 を参考にしてください。テレビ設置後、テレビの重さで自然に下がってしまう場合は、+ (プラス) 方向へ少しずつ回して調節してください

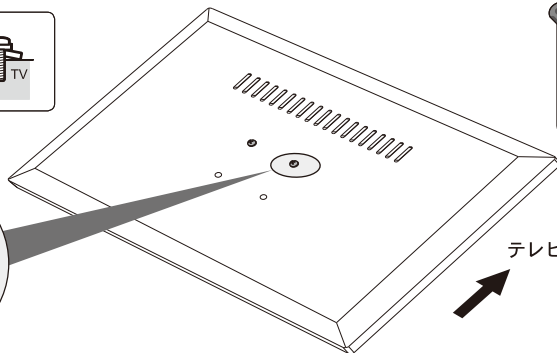
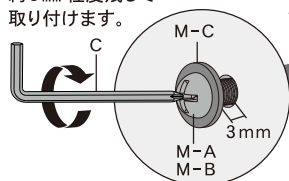


ステップ 1

テレビへのネジの取り付け



ネジは最後まで締めずに約 3 mm 程度残して取り付けます。



ブラケットにひっかけるためのネジをテレビに取り付けます。上記のイラストのようにネジ穴 4 つのうち上部の 2 つにネジ [M-A または M-B] とワッシャー [M-C] を取り付けます。テレビに合うネジを使用してください。



万が一ネジが合わない場合、取り付け可能テレビ (VESA 規格対応) ではない事になります。お取り付けができませんので、設置作業を中止してください。

ステップ 2

壁面への金具の取り付け準備



テレビ壁掛けの最重要ステップです。取り付けは慎重・確実に作業するようにしてください。壁面への取付不備による事故・損害、及び施工中に付くキズ・破損等については、一切の保証がありません。少しでも不安に感じたら、お近くの内装業者・電設業者に相談してください。

●壁の構造について (必ず耐荷重のある壁への設置を！)

設置は補強のある壁、もしくは壁裏の間柱 (スタッド) に行ってください。石膏ボード壁の場合、ボードのみの部分にネジ打ちする事無いよう、十分に注意ください。壁裏の間柱を見つけるにはホームセンター等で売っている壁裏センサー (1500円程度) やキリを更に細くした検知針が便利です。

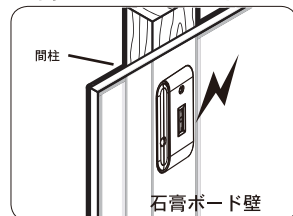
●間柱を見つけたら

間柱を発見した場合、間柱の「中央」にネジを打つ必要があります。間柱の端にネジを打つと強度が不十分だったり、間柱が割れてしまう事もあるので注意しましょう。詳しくはセンサーや検知針の説明書をご覧ください。

●コンクリートやレンガ壁について

コンクリートやレンガ壁への設置は、難易度が高い施工になります。お近くの内装業者等の専門業者に依頼してください。個人での設置は絶対に行わないようにしてください。

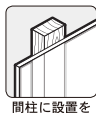
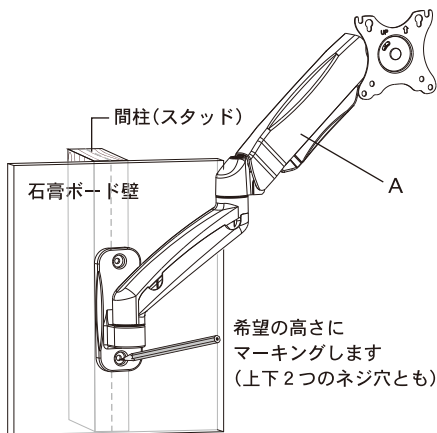
石膏ボード壁は間柱に！



●一般的石膏ボード壁の場合、壁裏センサーを使用して間柱を見つける。キリ等を使う場合、何度も刺して柱の中央を見つけましょう。

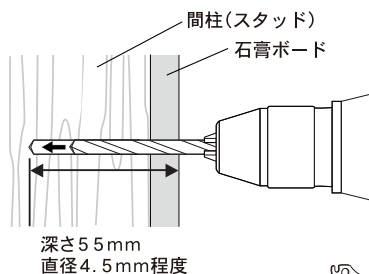
ステップ3

壁面への金具の取り付け



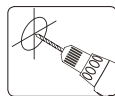
1) 設置位置の確定

現在の主流である石膏ボード壁の場合、ステップ2を参考に壁裏の間柱(スタッド)を見つけてください。間柱は一般的に40~45センチ幅で設置されている事が多いようです。ご参考ください。間柱が確定したら、左図のようにネジ穴にマーキングをします。

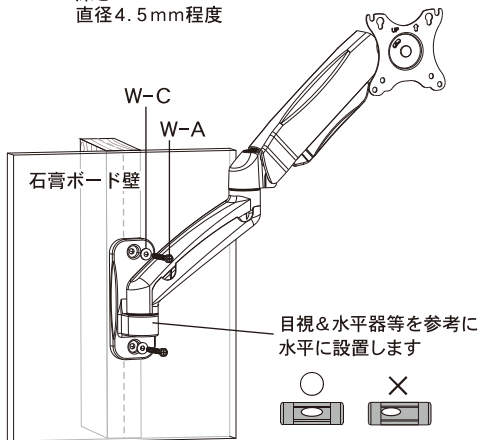


2) ネジ打ち用下穴の開口

壁を横から見た断面図(左)を参考に、ネジ打ち用の下穴を開けます。電動ドリルがあると便利です。壁にキズをつけますので慎重に作業を行ってください。

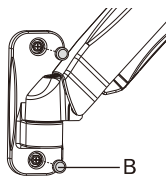


下穴は真っ直ぐに開けるよう
注意してください



3) 金具の壁面への取り付け

左図を参考に壁用ラグボルト[W-A]とワッシャー[W-C]を使用して金具を壁面にしっかりと打ち付けます。打ち付けたらネジ穴カバー[B]を取り付けます。



最重要ポイント

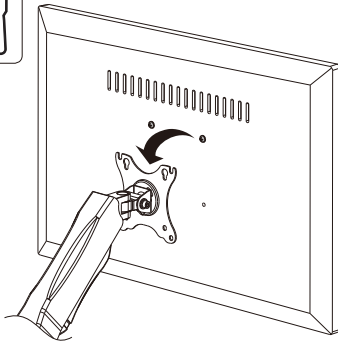
ネジ打ち後、少しでも違和感(ネジの空効き等)を感じたら設置を中断し、専門業者に相談してください。

※間柱の硬さによっては、若干細く短いボルトの方が作業がしやすい場合があります。その時はホームセンター等でご用意ください。但し、強度不足のネジで設置することのないよう、くれぐれもご注意ください。

ステップ4 テレビブラケットと金具本体の組み立て



二人での作業を推奨



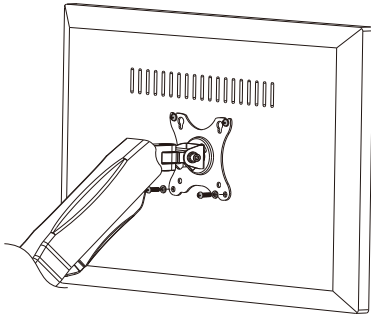
下右図を参考にして、テレビをアーム部に引っかけます。
この段階では、まだテレビは固定されていないので、
落下が無いよう十分に注意してください。



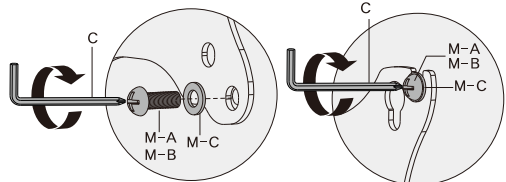
最重要ポイント

ネジを締めていないこの段階では、
テレビの落下が無いよう細心の注意
を払ってください。

締め終わるまで落下に注意!



左図と下図を参考に、4か所のネジをしっかりと止めます。
特に下の2つを止めるまでは落下の危険があるので、気を
抜かないように注意します。



下部分

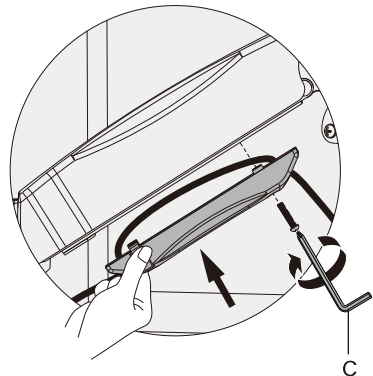
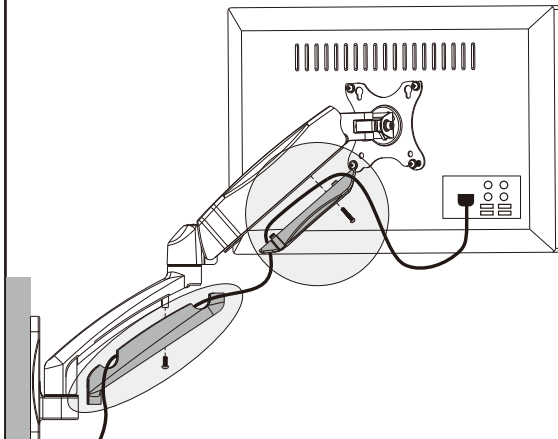
上部分

ステップ5 ケーブルホルダーの活用

当商品のポイントとして使いやすいケーブルホルダーがあります。

図を参考にHDMIケーブルなどを綺麗にまとめましょう。

ホルダーを取り付けているネジを外し、ケーブル類を通して再びネジでホルダーを取り付けます。



ステップ 6 アームスプリング部のテンション調節

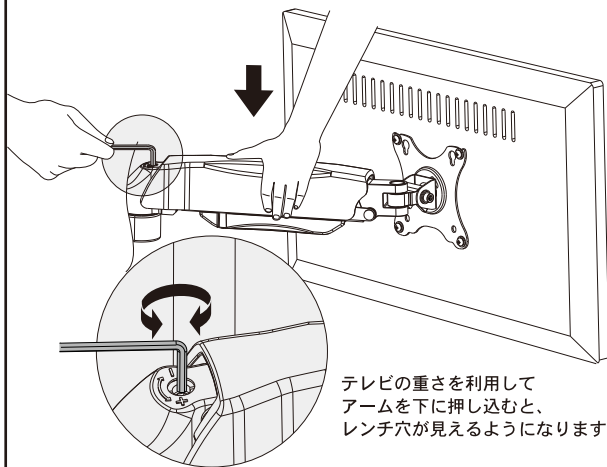
- アームスプリングを調節する事で、アームの上下動を快適に行う事が出来るようになります。
- 取り付けたテレビの重さによって、アームスプリング部のテンションを調節します。下図を参考にして、アームを上部から押し込むとレンチ穴が見えるようになります。この時必要以上に力を加えると壁に負担がかかります。特に壁への取り付け工事そのものに不備があった場合(強度不足の壁等)壁の破損にも繋がりますので、ご注意ください。



怪我や壁の破損に十分注意を！！

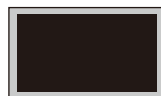
アームに力を掛けますので、壁への取り付けに不備があると非常に危険です。壁の強度・取り付けが万全である事を再度確認の上、テンション調節してください。

- 5mm六角レンチ [C] で、スプリング強度を調節します。テレビの重さに応じて以下の方向に調節します。
 - ・テレビが勝手に下がる場合は「+」マーク方向へ回す
 - ・テレビが勝手に持ち上がる場合は「-」マーク方向へ回す



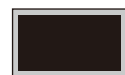
テレビの重さを利用してアームを下に押し込むと、レンチ穴が見えるようになります。

TVが重い時(アームが勝手に下がる)



に回して調節

TVが軽い時(アームが勝手に上がる)



に回して調節



初めて動かす際は、スプリング部分が少し硬い場合があります。手前に引きながらテレビを下げると力がうまく伝わり、動かしやすくなります。

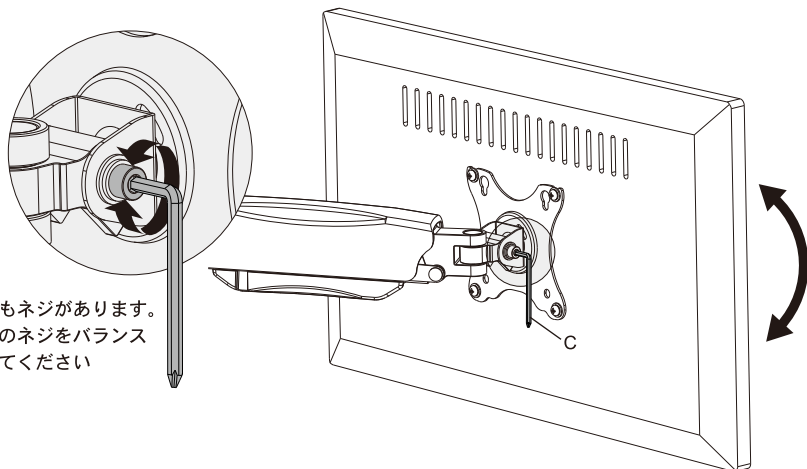


手前に引っ張りながら下げる

ステップ 7

画面上下角度調節について

- 当金具はフリーロック機構です。最初に調節を行う事で画面の上下角度調節時にネジを緩めたりする必要がなくなります。
 - 下図を参考に5mm六角レンチ [C] でネジの強さを調節しておきます。
 - 手で上下調節が出来て、テレビが勝手に「おじぎ」をしない程度に左右のネジをバランス良く締めつけてください。
- ※万が一バランスが上手く取れない場合、お好みの角度にした上で、ネジをきつく締めつけてください。



反対側にもネジがあります。
左右両側のネジをバランス
良く締めつけてください

ステップ 8

画面水平角度の調節について

- 当商品は、車のハンドルのように画面そのものを360度回転させる事が出来る機能があります。仮に設置時に水平を取り間違えた時があった場合もこの機能により調節が可能です。画面を両手で持って、水平を取りたい方向にハンドル回転操作します。

ステップ 9

取付の終了と確認

各取り付け部分や壁面にガタつき等がないか、チェックしてください。緩みがあった場合は、しっかりと締め直しましょう。少しでも違和感があった場合、テレビを一旦取り外し、専門業者に相談してください。

これらのチェック作業は3か月程度を目安に定期的に行い、経年使用による落下などが無いように注意してください。



テレビの取り外しについて - 破損や怪我をしない為に

テレビを外す場合、アームからテレビを外すと同時に、荷重がかからなくなりアームが上方向に跳ね上がります。怪我等をしないように十分ご注意ください。